

**武生商工会議所**  
管内事業所景気動向調査 平成30年7-9月期

調査期間 平成30年9月5日～9月14日

調査票配布数 498 件

調査回答件数 153 件

回収率 30.7%

今期：平成30年7-9月期 前期：平成30年4-6月期 来期：平成30年10-12月期

(1) 業種・従業員規模

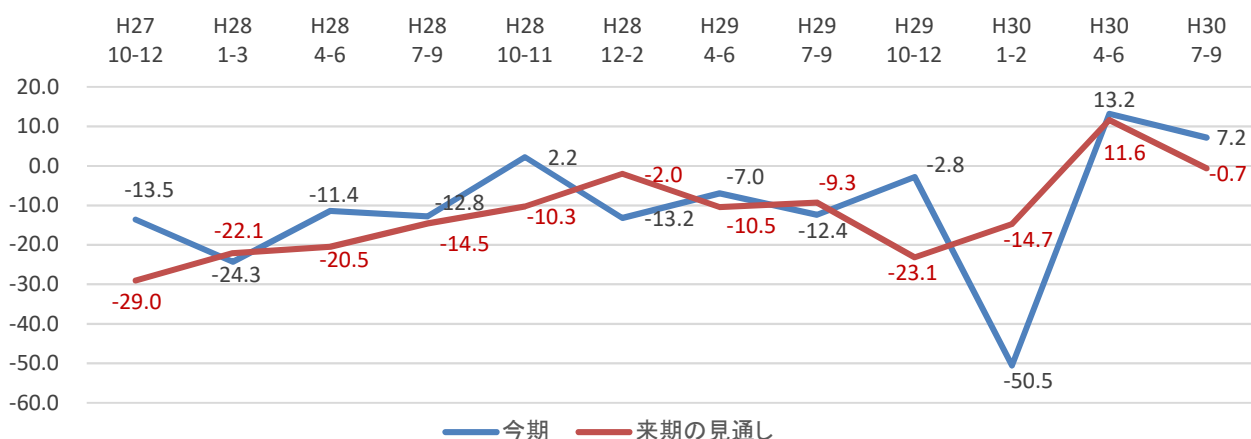
|           | ①     | ②     | ③     | ④      | ⑤      | 無回答  | 合計     | 割合     |
|-----------|-------|-------|-------|--------|--------|------|--------|--------|
|           | 5人以下  | 20人以下 | 50人以下 | 100人未満 | 100人以上 |      |        |        |
| ①製造業      | 7     | 17    | 5     | 4      | 9      | 2    | 44     | 28.8%  |
| ②卸売業      | 8     | 6     | 7     | 0      | 1      | 0    | 22     | 14.4%  |
| ③小売業      | 7     | 4     | 1     | 0      | 0      | 0    | 12     | 7.8%   |
| ④飲食・サービス業 | 18    | 9     | 8     | 5      | 2      | 0    | 42     | 27.5%  |
| ⑤建設業      | 5     | 11    | 8     | 2      | 0      | 0    | 26     | 17.0%  |
| ⑥その他      | 1     | 1     | 2     | 2      | 1      | 0    | 7      | 4.6%   |
| 無回答       | 0     | 0     | 0     | 0      | 0      | 0    | 0      | 0.0%   |
| 合計        | 46    | 48    | 31    | 13     | 13     | 2    | 153    | 100.0% |
| 割合        | 30.1% | 31.4% | 20.3% | 8.5%   | 8.5%   | 1.3% | 100.0% |        |

## 【問1 今期の景気状況について】

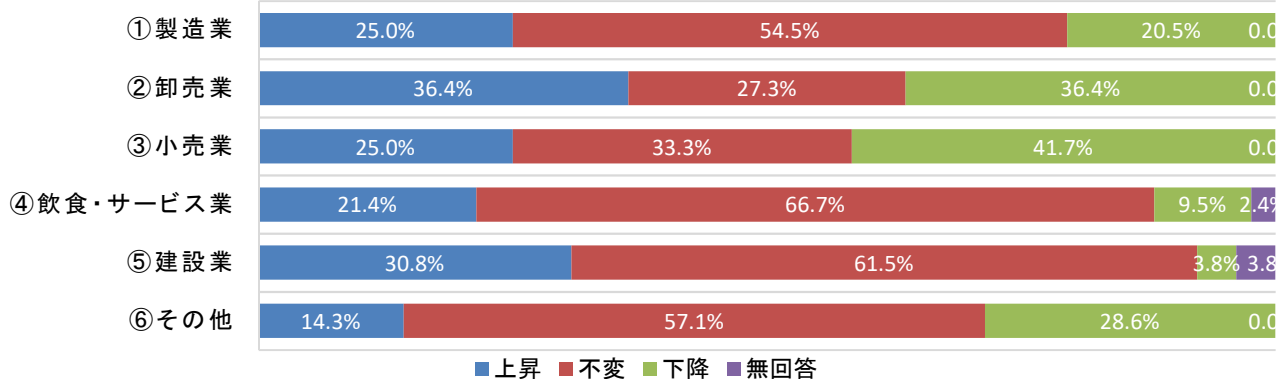
今期の景気状況について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時（H30年4-6月期）と比べ6.0ポイント減少した**7.2**と、緩やかな悪化傾向に転じている。来期の見通しD I 値については、前期と比較して12.3ポイント減少した**▲0.7**となっており、来期以降も緩やかな悪化傾向が進むと予想される。今年2月の雪害の影響による前期の大幅な落ち込みの反動による需要が落ち着き、今期以降は緩やかな悪化傾向に推移し、今後例年並みに落ち着くと考えられる。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は小売業以外の全業種において悪化傾向となっており、来期の見通しD I 値については、小売業、建設業においてD I 値がマイナスにて推移している。小売業においては今年2月の雪害による落ち込みから好転傾向が続いているが、引き続きD I 値はマイナスにて推移し、厳しい状態が続くと考えられる。

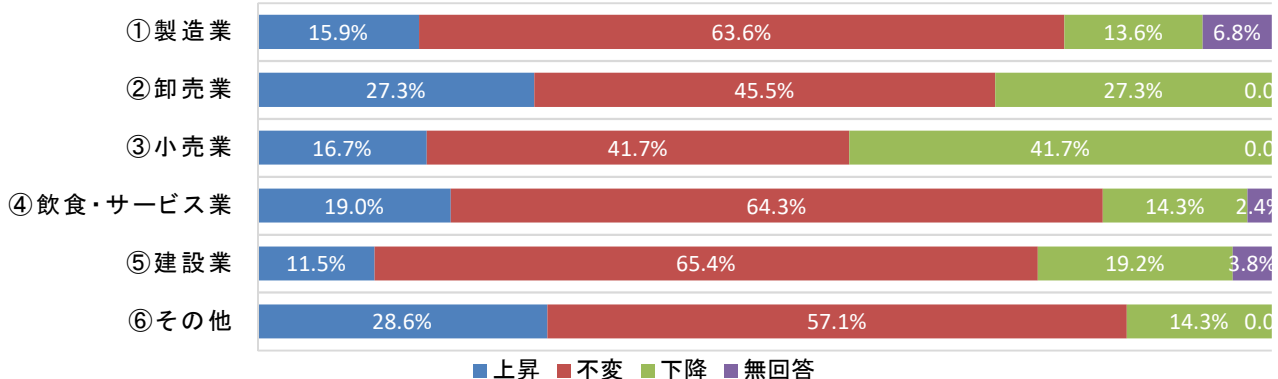
### 景況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



### Q1 業種別 今期の景況状況 前期と比較



### Q1 業種別 今期の景況状況 来期の見通し

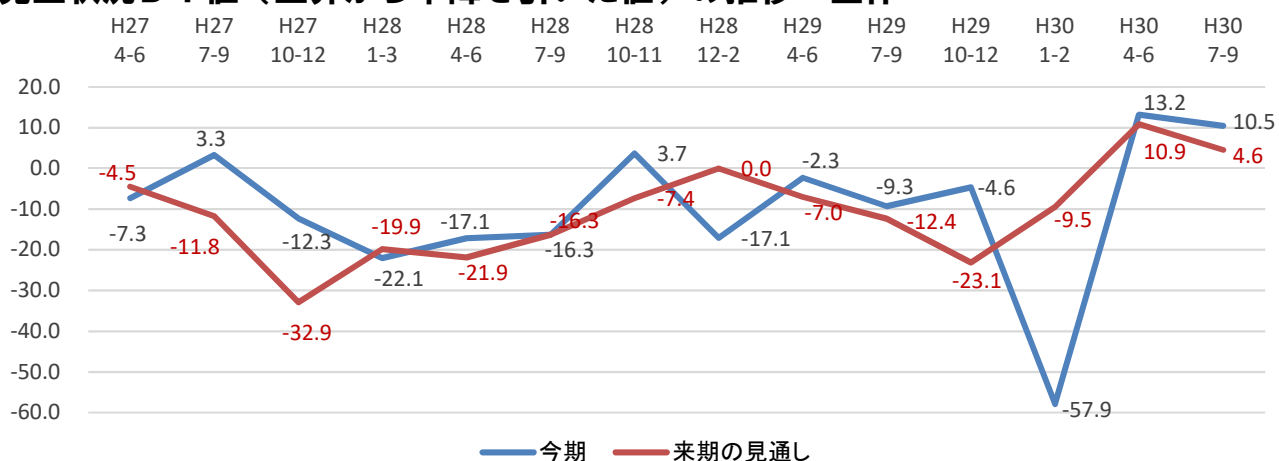


## 【問2 今期の売上高（受注高・出荷額等）について】

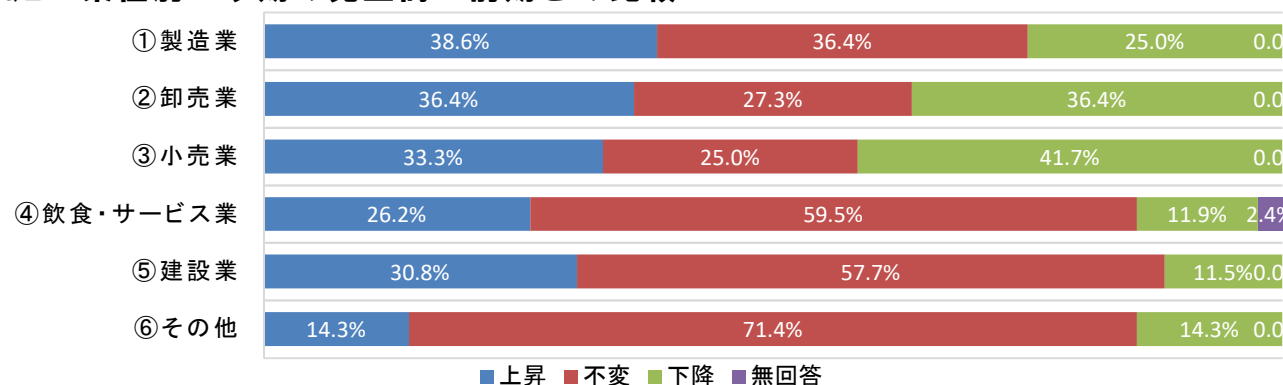
今期の売上高について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時と比べ2.7ポイント減少した**10.5**となり、景気状況と同じく緩やかな悪化傾向に転じている。来期の見通しD I 値については、6.3ポイント減少した**4.6**となっており、景気状況と同じく、来期以降も緩やかな悪化傾向が進むと予想される。今年2月の雪害の影響による前期の大幅な落ち込みの反動による需要が落ち着き、今期以降は緩やかな悪化傾向に推移し、今後例年並みに落ち着くと考えられる。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は建設業においてのみ大幅な悪化傾向となっており、来期の見通しD I 値については、小売業、建設業においてD I 値がマイナスにて推移している。建設業においては今年2月の雪害の落ち込みから一時好転傾向に転じたが、今期は悪化し、来期以降も更なる悪化が予想されている。

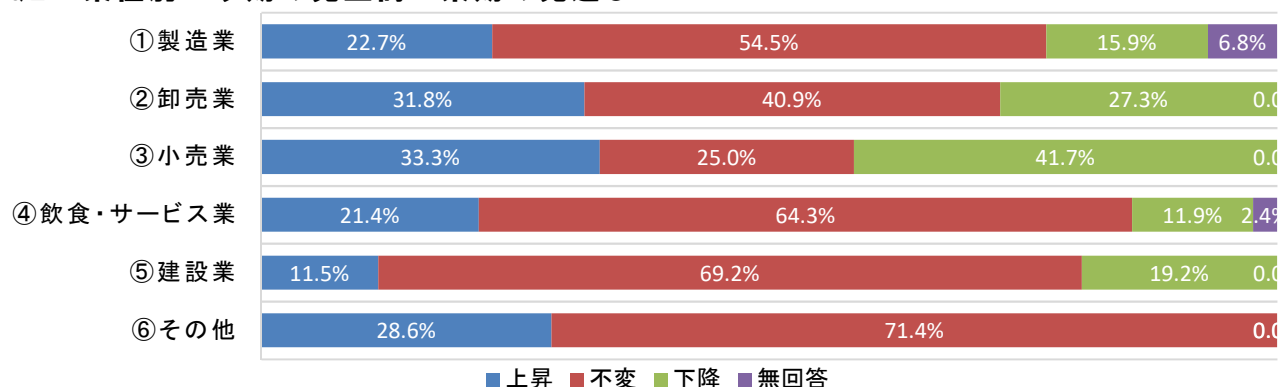
### 売上状況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



### Q2 業種別 今期の売上高 前期との比較



### Q2 業種別 今期の売上高 来期の見通し

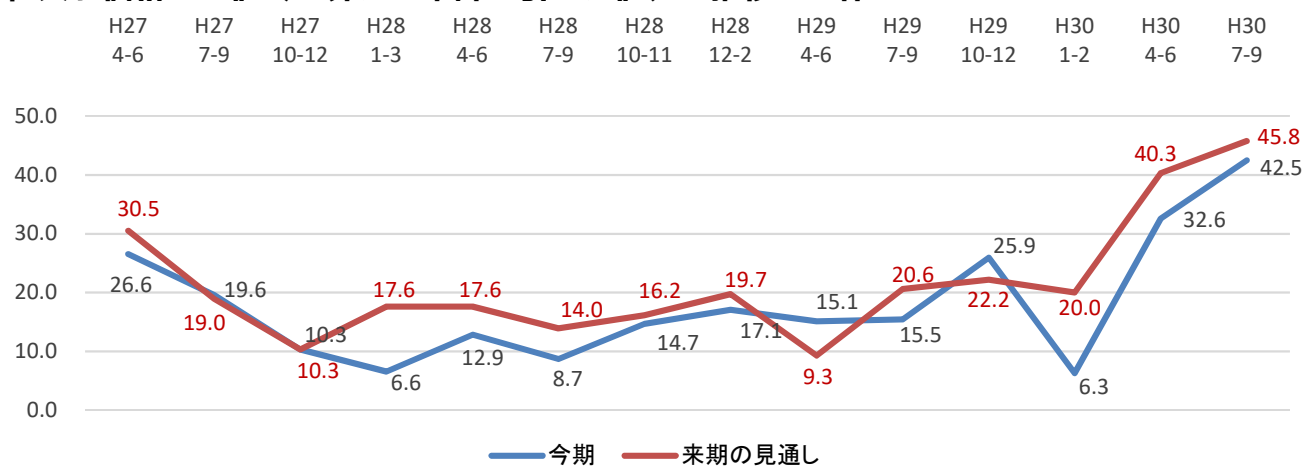


### 【問3 今期の仕入単価（商品・原材料等）について】

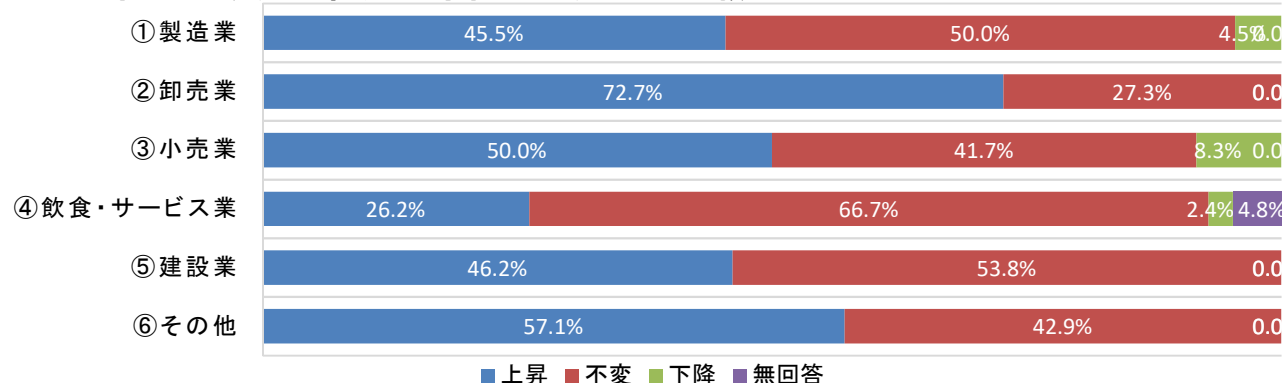
今期の仕入単価について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が5.5ポイント増加した**45.8**となり、今期も増加傾向となった。来期の見通しD I 値についても、9.9ポイント増加した**42.5**となり、来期以降は緩やかに下降すると考えられる。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値については、卸売業における大幅な増加傾向が目立ったが、増加は今期の一時的なものと考えられる。また来期の見通しD I 値については、卸売業以外の全業種において今期以上の仕入れ値の高騰が予想され、原材料や資材、輸送コストの増加により、仕入れ値が大きく膨らんでいると考えられる。

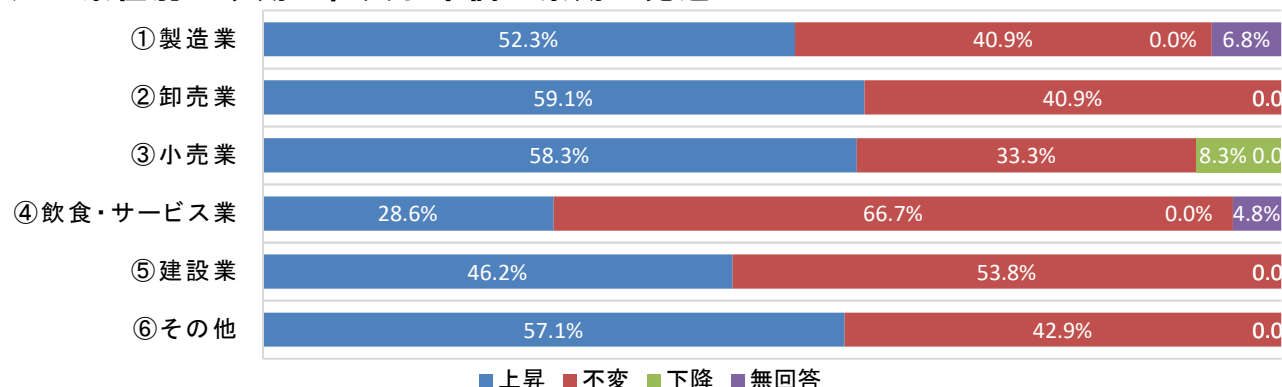
#### 仕入れ価格D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



#### Q3 業種別 今期の仕入れ単価 前期との比較



#### Q3 業種別 今期の仕入れ単価 来期の見通し

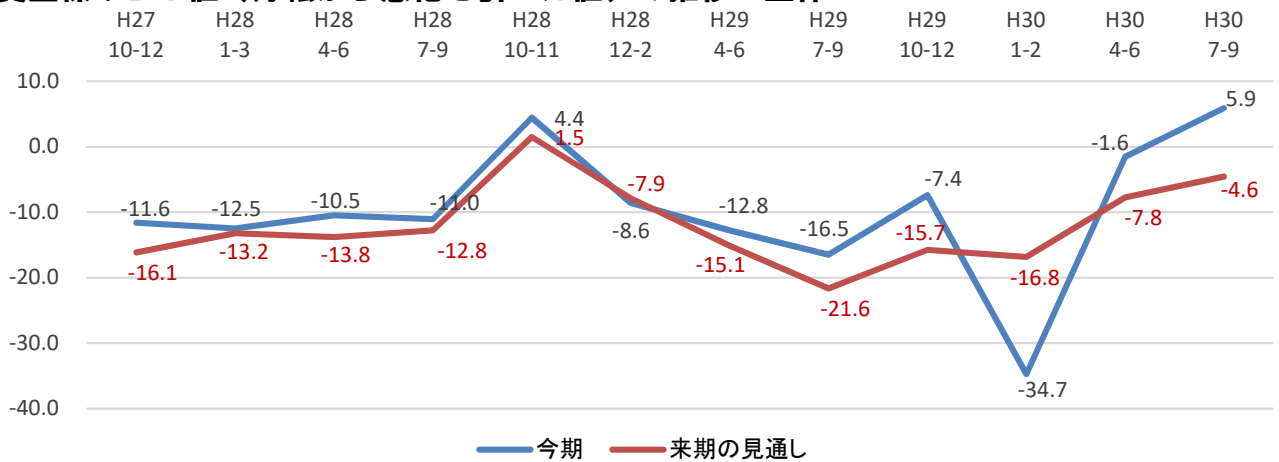


## 【問4 今期の資金繰りについて】

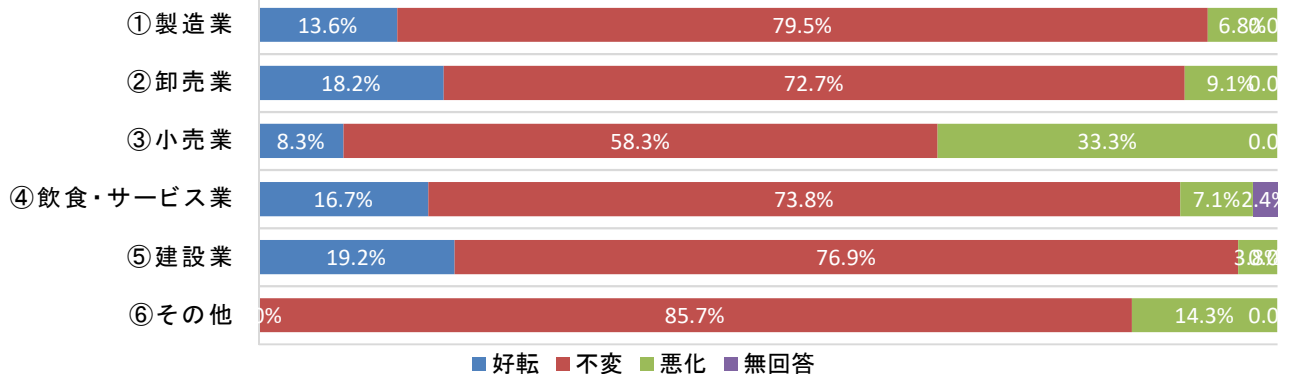
今期の資金繰りについて、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が7.5ポイント増加した**5.9**となり、今期も引き続き好転傾向となった。来期の見通しD I 値については、前回調査時と比較して3.2ポイント増加した**▲4.6**となっており、来期以降、緩やかな悪化傾向に転じることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値については、小売業以外において好転傾向となっており、来期の見通しD I 値においては、卸売業、飲食サービス業以外においてDI値がマイナスに転じることが予想される。資金繰りにおいても今年2月の雪害による影響の反動により、引き続き好転傾向が続いたが、来期以降は厳しい状況が続くと考えられる。

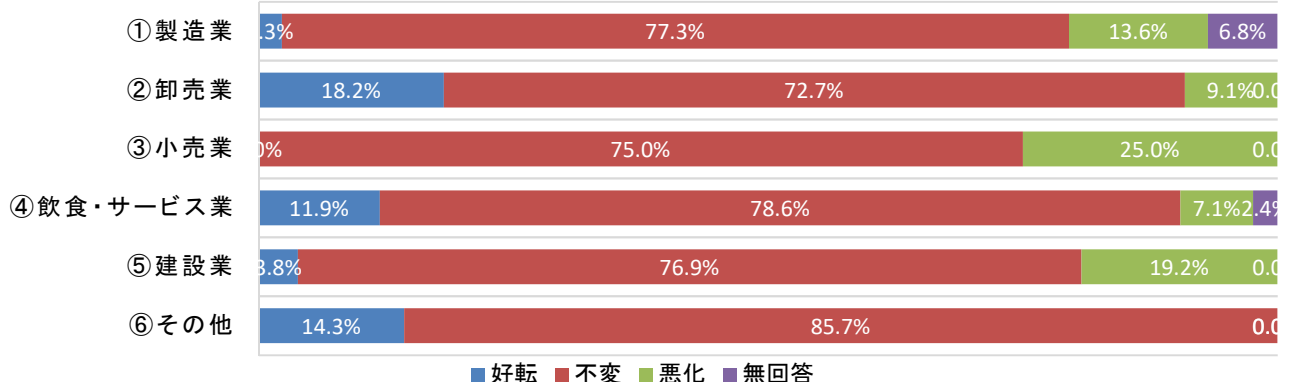
### 資金繰りD I 値（好転から悪化を引いた値）の推移 全体



### Q4 業種別 今期の資金繰り 前期との比較



### Q4 業種別 今期の資金繰り 来期の見通し



## 【問5 今期の採算について】

今期の採算について、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時と比べ9.0ポイント減少した▲2.0となり、悪化傾向に転じた。来期の見通しD I 値については、8.5ポイント減少した▲8.5となっており、今期からさらに悪化傾向となることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は、卸売業以外の全業種において悪化傾向に転じており、来期の見通しD I 値についても、卸売業以外の全業種においてD I 値がマイナスにて推移することが予想される。採算においても今年2月の雪害による影響の反動による好転傾向が続いたが、来期以降は厳しい状況が続くと考えられる。

